

13. 10 2A  
642

十月十一日

官房同志会の共同研究会存続問題の意見書  
共済和記に送る

に

一官房同志会

同同志会は、再三同志会を解散し協会の結果此處一万程の排  
し味に於て會の利益或は利益を確保し得るに若し使用し會を  
研究会に譲り名目を進む意向の有し是と方一會同成りた  
るに、現に同志会が一部に研究会が所し、假移轉方  
多量に社会政策を推進し得るに、協会の利益を確保し得るに、  
如何にせよ、切實に同志会相互協進し自れを存続し得る  
運議の必要ありと、決意し居る

二共同研究会